

ロードライン3000 黄鉛・クロムフリー 製品使用説明書

日本ライナー株式会社

- 規 格 ・ JIS K 5665 1種B 適合品
- 系 統 ・ 常温用 溶剤型アクリル樹脂系路面標示用塗料
- 特 徴 ・ 重金属である鉛およびクロム化合物を含まない環境配慮型商品です。
 ・ 速乾性に優れ、さまざまな塗装方法による区画線工事の作業性に優れています。
 ・ スプレー塗装作業性に優れています。
 ・ 耐摩耗性に優れ満足のいく、耐久性を発揮します。
 ・ ガラスビーズの固着性がよく、優れた夜間視認性（反射輝度）が得られます。

□塗料性状

色 相	黄 色	
光 沢	つや消し	
密 度g/cm ³ (23℃)	1.4	
加熱残分 (%)	70	
引 火 点	4℃	
発 火 点	427℃	
危 険 物 表 示	合成樹脂エナメル塗料	
危 険 物 区 分	第1石油類	
危 険 等 級	II (火気厳禁)	
有 機 溶 剤 区 分	第2種有機溶剤等	
有 害 物 表 示	トルエン	5~10%
	酢酸エチル	10~20%
	クロム酸鉛	該当なし

※性能数字は、実績に基づいた代表値です。

- 荷 姿 ・ 金属製ドラム 160ℓ
 石油缶 14ℓ

□塗装方法 使用上の注意

- ・ 取扱い時は、保護手袋、保護マスク、保護メガネ、前掛け等を必ず着用してください。
- ・ 使用前に十分に混合、攪拌してください。
- ・ 希釈溶剤：ロードライン3000シンナー

塗装方法	エアレススプレー塗装	ローラー、エアースプレー塗装
希釈率	0~10%	20%以内

- ・ 塗装時および塗料取扱時は十分に換気を行ってください。火気厳禁です。
- ・ 過剰な厚塗りは乾燥を遅らせ、また、薄塗りは「透け」や耐久性が劣る原因になりますので、適正量で塗装して下さい。
- ・ 下記の環境条件での施工は控えて下さい。
 - ① 気温が5℃以下の場合
 - ② 相対湿度が85%以上の場合
 - ③ 施工後2時間以内に降雨が予想される場合
 - ④ 降雨などで路面が濡れている場合
部分的にわずかに濡れている路面であればバーナー等で十分に乾燥させて下さい。
 - ⑤ 凍結路面や凍結防止剤などの残存が認められる場合
 - ⑥ 強風や粉塵が多く、スプレーパターンが安定しない場合

□下地調整

- ・ アスファルト面： 砂塵、ゴミ、油分等を除去し清浄な面にして下さい。
- ・ コンクリート面： 打設直後は養生期間をおき、ニッペ浸透性シーラーを0.15kg/m²/回塗布し、十分に乾燥させてから塗装して下さい。
- ・ 旧塗膜面： 旧塗膜上を清浄な面にして下さい。旧塗膜の劣化が著しい場合は、旧塗膜を除去して下さい。

ロードライン3000 黄鉛・クロムフリー 製品使用説明書

日本ライナー株式会社

□マーカーの 設定

- 標準塗布量: 0.4 l/m²
- 設定施工速度: 6 km/hr (20 cm巾) ・ 8 km/hr (15 cm巾)
- 設定条件:
 - 《一次ポンプ》エア調整圧 : 0.2~0.4MPa(ポンプ圧) 5 : 1
 - 《二次ポンプ》エア調整圧 : 0.3~0.5MPa(ポンプ圧) 20 : 1
 - 《チップNo.》使用例 ; 東洋内燃機製100200 (20cm幅用)
100150 (15cm幅用)
- * 二次ポンプのエア調整圧を0.3~0.5MPaの範囲で吐出量を測定し、エア調整圧を決定して下さい。キャリブレーション実施と同時に、スプレーパターンの確認をして下さい。
- * 塗布量及び施工速度、設定条件は標準的数値です。舗装種別や路面形状、素地状態、塗装機能力、ポンプ型式、ノズルチップNo.、加熱温度、気象条件により、増減幅を生じます。

□廃棄上の 注意

- 産業廃棄物の分類
 - ① 残塗料および洗浄シンナー [特別管理、廃油]
 - ② ドラム缶の内袋 [廃プラスチック類]
 - ③ 石油缶、ドラム缶 [金属くず]
- 塗料や洗浄シンナー等が直接、地面・河川・排水溝に流れ込まないように注意してください。
- 不法投棄や不適正処理を行った場合、厳しく罰せられます。
生活環境保全を考慮し、適切な対応をお願いします。

□注意事項

- 直射日光下や雨ざらし、缶蓋に雨水が溜まったまま保管しないで下さい。
- 法規制に従って保管してください。
- 水やアルキド樹脂系塗料など他品種塗料および専用シンナー以外の混入は絶対に避けてください。降雨や結露などの水分及び他品種塗料が混入しますとゲル化し、塊りが発生する恐れがあります。
- ゲル化した塗料をそのまま継続して使用しないでください。
塗膜の耐久性に影響を及ぼす場合や塗装機器の異常や損傷をきたす恐れがあります。
- 作業前にラベルに記載する「安全衛生上の注意事項」をご参照ください。
- 製品に何らかの異常がある場合は、直ちにラベル等に記載する当社の連絡先までご連絡をお願い致します。
- 急きょ法規制等の改正がある場合、事前にお知らせができずに記載内容を変更、改正する事があります。
- 製品の成分情報や緊急時の措置などの明細な内容は「SDS」をご参照ください。